

令和2年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

光駅拠点整備にかかる民間資金等活用事業調査 (調査対象箇所：光市虹ヶ浜三丁目 地内)

【調査主体】光市

調査対象事業の概要／施設の概要

【調査対象事業の概要】

JR光駅の南口における、駅舎を含む南北自由通路及び駅前広場等の整備にあわせ、駐車場などの管理・運営等に係る民間事業者のノウハウ・資金の活用やにぎわい創出施設の導入を検討するにあたり、専門的な見地から整備手法等や採算性についての調査・分析、比較検討、民間の参入意向等、民間資金の活用の可能性について調査する。

平成31年3月に、「光駅周辺地区拠点整備基本構想」を策定し、基本構想において「短期の取組み」として位置付けた、駅近接エリアのハード面を主とした整備に関する基本的な計画として、令和2年9月に、「光駅拠点整備基本計画」を策定し、整備事業を進めている。

基本計画において、現在の南口駐車場・駐輪場部分については、駐車場や交流広場を整備することとしており、加えて、民間活力を想定した、住機能や商業機能といったにぎわい創出施設等の導入の可能性について検討することとしている。

【施設の概要】

光駅南口駐車場(駐車場200台程度)

光駅南口交流広場(約2,000㎡)

検討経緯等

平成30年度

- ・「山口地域PPP/PFI官民連携プラットフォーム」による官民対話参加(光駅周辺地区拠点整備)
- ・「光駅周辺地区拠点整備基本構想」策定

平成31年度／令和元年度

- ・光駅周辺地区拠点整備に係るサウンディング型市場調査実施

令和2年度

- ・「光駅拠点整備基本計画」策定
- ・「山口地域PPP/PFI官民連携プラットフォーム」による官民対話参加(光駅拠点整備)

事業化に向けて解決すべき課題及び検討すべき内容

【事業化へ向けて解決すべき課題】

- 1 サウンディング、個別ヒアリング等を通じ、案件形成を進めており、導入可能性調査により、参入条件や事業内容などについて、実現可能性がある事業を具体化する必要がある。
- 2 南口駐車場敷地を官民が適切な役割分担のもと有効活用し、駐車場、交流広場にぎわい創出施設を整備、管理、運営し、双方にとってのメリットを最大化する事業内容を構築する必要がある。
- 3 駅前広場等の整備をふまえた事業スケジュールの検討が必須であり、民間が参入する可能性が高い事業内容及び条件を、早期に比較検討、設定して民間の参入をする必要がある。

【検討すべき内容】

- 1 事業案作成のための基本事項、前提条件等の整理
- 2 事業案の作成と比較検討
- 3 実現に向けた事業内容等の精査

